



「富士山のまち 富士宮から世界へ！」きらら2年目を終えて

会長 白垣善行

No.79

2016.4



平成 27 年度も会員の皆様に御協力いただき様々な活動を行うことができ、この様に充実した会報が発行できたことに感謝しております。

本年度は友好交流関係都市からの来宮が例年より多く、中国・紹興市、韓国・榮州市からの各訪問団の受け入れなどを行いました。そのような対外的な活動の一方で、富士宮市で生活する、もしくは観光で滞在する外国人と地元市民とが一緒に楽しめる宮おどりのような交流も行いました。

文化交流事業では、日本と外国、互いの食文化を学ぶ機会などを作りました。私自身も新しく知ることが多く、また私が日本の食文化を説明するほどしっかりした知識がないことなどを認識しました。外国を知ること大切ですが日本や地元のことを改めて学ぶ必要があると実感しました。

多文化共生事業では、昨年度始めた「おしゃべりラウンジ」の認知度もあがってきており、今後継続していくことが大事だと思っております。同時に支援には専門的な知識が必要だと考え、ボランティアの勉強会や、他団体との情報交換も兼ねた交流を行っていく必要を感じます。

地域防災では外国人が地域住民と共生し、互いに協力することができる手助けを行いました。事務局が市役所から富士宮駅前交流センターきららに移転し2年経ちますが、日頃の活動の成果は着実に出てきています。

観光や、海外の交流都市との経済発展においても、富士宮市国際交流協会の活躍できる場がますます増えてくると考えています。これからも会員の皆様には、富士宮市国際交流協会へのご協力をよろしくお願いいたします。

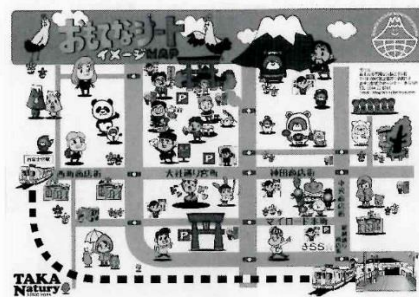
富士宮市国際交流協会 平成 27 (2015) 年度事業

- | | |
|--|--|
| <p>5月 総会
第1期語学講座・にほんご教室開始</p> <p>6月 中国・紹興市訪問団 来宮</p> <p>7月 世界の料理教室「WA! 日本料理を学ぼう」
国際交流パーティ「七夕流しそうめんパーティー」
国際理解力向上事業「おもてなシート」
商店街ロールプレイング
国際理解講座「インド舞踊を踊ろう!!!」
「外国につながる生徒と保護者に対する進学相談会」協力</p> <p>8月 宮おどり 参加
日本語支援ボランティア養成講座
子ども国際理解講座
学校教育課との連絡協議会</p> <p>9月 第2期語学講座・にほんご教室開始
国際理解力向上事業「おもてなシート」
富岳館高校ロールプレイング
おしゃべりラウンジ「防災スペシャル」</p> <p>10月 きららまつり 参加
韓国・榮州市中学生交流研修訪問団 来宮</p> | <p>多文化共生事業「知ろう、つながろう、楽しもう 日本語ボランティア」富士・富士宮編 共催</p> <p>11月 韓国・榮州市市長訪問団 来宮
日本語支援ボランティア養成講座特別研修会</p> <p>12月 舟久保区防災訓練 協力
世界の料理教室「韓国料理」
国際交流イベント「外国人カラオケ大会」</p> <p>1月 第3期語学講座・にほんご教室開始</p> <p>2月 国際理解力向上事業「こども英語講座」
国際交流パーティ「富士山ワイン飲ま Night!」</p> <p>3月 国際理解力向上事業「こども英語講座」</p> |
|--|--|

上記以外に年間を通じて、日本語を母語としない市内児童・生徒に対し日本語支援を行っています。また、外国籍市民への日本語支援の場として月1回「おしゃべりラウンジ」を開催。そのほか富士宮市役所の協力により、「広報ふじのみや外国語版（ポルトガル語・英語・スペイン語）」の発行・配布を行っています。

国際理解力向上事業

富士山が世界文化遺産に登録され、2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されるなど、来宮外国人の増加が見込まれることから、富士宮市民が外国語や外国の文化に対してストレスを感じることなく接することができるように、市民1人1人が国際理解力を身につけたり、レベルアップするための機会を創出するために行う事業。



指差しでコミュニケーション！ みんなで「おもてなしシート」を作ろう！

「外国人が来てもビックリしちゃって、挨拶もできずにサヨナラしちゃうんだよ…」
「困っている外国人に、知らない顔をするのは人として哀しいよね」
「言葉が通じなくてコミュニケーションを楽しみたい」
「そう！おもてなしをしたい！」

そこで誕生したのがこの、「おもてなしシート」です。
中心市街地を訪れた外国人と外国語がわからない市民が、絵やマークで簡単なコミュニケーションがとれるよう、商店街のみなさんを対象に作成されました。

作成作業中に生まれた 本音のコミュニケーション！

“海外からの観光客へのおもてなしに関すること”を担当する文化交流委員有志と富士宮市市民生活課、市内在住のイラストレーターTakaNaturyさんとで手探りで始めた”おもてなしシート企画会議”。

「ところで来宮した外国人観光客が商店街に求めるものってナニ????」

「なんだろうね？外国人に聞いてみればいいんじゃない？」

試しに作成したイラストを手を、素直に聞いてみることにしました。

すると…

頭痛で頭を抱えているイラスト⇒「テレパシーでも送っているの？」

ガッツポーズのイラスト⇒「怒っているのかな…」

菓子のイラスト⇒「おいしそうな飴だね！」

感じ方がこんなにも違うんだ！！と頭を抱える担当者たちに、外国籍市民が時には苦笑い、時には大笑いしながらいろいろ教えてくれました。

「わからない人にはわかる人が教えてあげればいい」という基本的な”おたがいさま”の構図を思い起こさせてくれた作業でした。

4/27(月) 外国籍市民 × FAIR

アメリカ人でALTのブライアンさんと、フィリピン人で英語の先生のロエナさんに参加していただき、率直な感想を聞きました。



6/2(火) 日本語教室 × FAIR

メキシコ・インドネシア・アメリカ・フィリピン・ベトナムのみなさんからは「この絵じゃ、変な意味になっちゃうよ！」と笑われてしまいました。



国際理解力向上事業NEXT

2/6・3/12(土)、大富士交流センターにて、アメリカのカレッジで「幼児教育学」を専攻した深沢香織先生をお迎えし、3～5歳の未就学児および小学校1～3年生を対象に、「こども英語講座」が開かれました。

ゲームや歌などを楽しみながら、英語を体験しました。



7/10(金) 商店街連盟 × FAIR

富士宮商店街連盟の会合にお邪魔し、市内6商店街の各代表に「おもてなシート」作成の意図を説明。200を超える加盟全店舗への配布とロールプレイングへの協力をお願いしました。



10/31(土) 東部日本語ボランティアネットワーク × FAIR

東部日本語ボランティアネットワークおよび公益財団法人 静岡県国際交流協会主催の「知ろう、つながろう、楽しもう 日本語ボランティア」が行われ、リレー方式で行われた各団体による全5回の活動報告のうち、第3回「楽しくコミュニケーション」を富士にほんごの会とともに担当しました。

多文化共生委員会による「おしゃべりラウンジ」ほか、「おもてなシート」のロールプレイングを行い、他団体からアドバイスをいただきました。



7/24(金) 商店街連盟 × 留学生

A.C.C.国際交流学園に協力をお願いし、留学生に「おもてなシート」を紹介。観光客役になってもらい、商店街へ繰り出しました。



富士宮駅前通り商店街「増田屋」さんにて。中国からの留学生は日本語が堪能。増田屋さんも英語で対応できましたが、ワサビの利いた曾我漬けの香りが留学生には新鮮だったようです。

富士宮本町商店街「京極タンス店」さんにて。来日間もないネパール等からの留学生はまだ日本語が苦手。観光よりも病院や薬局に関しての英語での質問が相次ぎました。



9/17(木) 留学生 × 高校生

静岡県立富岳館高校3年生の国際教養系列の授業にて「おもてなシート」を用いた国際交流を行うワークショップを開催。再び、A.C.C.国際交流学園の留学生に協力をお願いしました。19人の高校生とインドネシア・韓国・スリランカ・中国・ネパール・ベトナム・モンゴルからの20人の留学生が、参加しました。



後日、A.C.C.の留学生から日本語の感想文をいただきました。ありがとうございました。

〔感想文中 原文ママ〕

〈抜粋〉行く途中、実は、私がとても緊張していました。富岳館高校の楽しい雰囲気、私は緊張など忘れてしまいました。(王さん・中国)

〈抜粋〉みんなは若くて、私たちの年齢の差が近いから、コミュニケーションがおもしろかったです。

これから もっと話しをして、友達になります。(李さん・中国)

〈抜粋〉ロールプレイは富士宮のきれいな所の案内書です。(中略)他に、私は高校生と日本の生活もアルバイトも話しました。高校生は私に漢字を教えました。彼女の名前の意味も教えました。(トゥイさん・ベトナム)

高校生は硬い表情で「こんなにたくさんの外国人と会うのは初めてで緊張する！」。留学生は少しモジモジ。ところがフタを開けてみると、50分×2限のワークショップの終わりになっても会話が途切れる気配がありません。

同年代ということで言語を超越してわかりあえた部分もあれば、もっと想いを伝えたいのに言語が追いつかないもどかしさもあったようです。



多文化共生事業

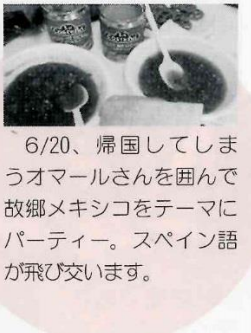
おしゃべりラウンジ

第(だい)3土曜日(どようび)は にほんご で 交流(こうりゅう) しましょう。
予約(よやく) は いりません。気軽(きがる) に きて ください。

昨年度から始めたこの事業は“外国籍市民に対し日本文化理解や日本語でのコミュニケーション促進を支援するため”に開催されています。いわゆる先生と生徒、という構図は火曜日の日本語教室にお任せして、この場では、日本人も外国籍市民も対等な立場で“おしゃべり=交流”します。

“おしゃべり=交流”することによって、「日本人の細かいルール作りにはこういう理由があったんだ！」と肌で感じる外国籍市民もいるでしょう。「外国の甘い(または辛い)料理は、日本とは全然違う気候で生まれた、その国で暮らす知恵なのね！」と外国籍市民から教わることも多いでしょう。日頃不思議に思っていることを、お互い質問しあい理解しあう“多文化”が“共生”する場なのです。

“おしゃべり=交流”は双方向での情報交換です。日本人参加者も、己の知りうる言語、もしくはボディランゲージを駆使して参加します。毎月第3土曜日に、富士宮駅前交流センターきららにて開催予定です。基本的に予約等はいりません。みなさんぜひ参加してください。



6/20、帰国してしまうオマールさんを囲んで故郷メキシコをテーマにパーティー。スペイン語が飛び交います。



9/19、防災VC富士宮の協力により、防災に関する講話やグッズの展示が行われました。10/17には富士宮駅前交流センターきららまつりに参加し市民にPRしました。



8/22、文化交流委員会の「こども国際理解講座」と共催で、行いました。FAIR初級英会話講座火曜コースのアラン先生に講師をお願いし、出身のアメリカ・アリゾナ州のお話を聞いたほか、英語でゲームをしたり、サンドウィッチを作ってみなで食べたり、異文化交流を楽しみました。



10/31、東部日本語ネット主催事業に富士にほんごの会(写真)とともに参加。県東部の各団体におしゃべりラウンジをPRしました。他団体との情報交換の大切さを学びました。



12/19、“Year end tea party”と題した会では皇陵高校英語部有志のみなさんが盛り上げてくれました。インドネシアや中国、フィリピン、韓国等出身者とともに楽しみました。



12/5、社会福祉協議会主催「夢ステージ」の企画、「市長のおやつ」を決めるコンテストの審査員を、フィリピン出身のロエナさんをお願いしました。かわいらしいピンクの民族衣装はキラキラと輝いて素敵でした。右：同じく審査員のミス富士山と。下：審査員席にてご挨拶。右端は須藤市長。

11/21、日本語ボランティアでも活躍してくださっている、フィリピン出身の山本ノリコさんをお願いし、フィリピンの料理をみんなで作りました。FAIR日本語教室からもブルー人の母娘が参加してくれました。



外国人防災訓練支援

12/6（日）外国人集住地区である舟久保区および富士宮市と協働し、地域で開催する防災訓練に、外国人の参加を呼びかけました。

地域に住む外国人が、言葉や文化の違いから、地域の防災訓練になかなか参加していない現状を少しでも解消しようとするため、また、地域の人と連携して災害に備えてもらうことを目的に実施するもので、昨年に引き続き今年で2回目となります。



今回参加してくださったポルトガル語・スペイン語通訳ボランティアは、富士宮市内在住の南米系外国人達が、言葉のみならず精神的にも頼りにしている方々です。昨年の訓練終了後、専門的な言葉が飛び交う通訳は、やはり大人の自分たちがやらなければいけないんじゃないか、外国籍市民が自ら防災意識を高めなくてはいけないんじゃないか、という反省があったそうで、今回の強力なバックアップにつながりました。

写真上左：新しく着任した富士宮署の担当警察官と情報交換する角田マサノリさん。平穩に暮らしたい外国人にとってもありがたいことです。

写真上右：区長の言葉をスペイン語で同時通訳する近藤ヨランダさん。

地震発生および避難指示放送を佐野区長が行ったのち、学区である富士根北中学2年生の古庄レイミさんがスペイン語とポルトガル語に通訳放送しました。ポルトガル語担当の同級生が体調を崩したため急遽練習し、見事対応してくれました。



左：AED訓練にスペイン語で対応する消防士
上：区長発案の担架リレー。盛り上がりました！
右上：簡易担架作成に協力してくれてありがとう。
右下：温かい炊き出しにホッと笑顔の外国籍市民。
“外国人だから助ける“のではなく、”同じ市民として一緒に助け合っていく”第1歩が踏み出した訓練でした。



日本語支援



8/7(金)～9/25(金)、A.C.C.国際交流学園の渡辺先生にお願いし、「日本語支援ボランティア養成講座」(全9回)を行いました。日本語教師に興味ある方から観光ボランティアまで様々な人が受講し、外国人と接する際の留意点等を学びました。



7/27(月)学校教育課主催の「外国につながる生徒と保護者のための進学説明会」のサポートをしました。市のポルトガル語・スペイン語通訳のほか、ラテンアメリカ研究会からもボランティア通訳に協力していただきました。子育て経験のある通訳は特に、参加保護者の不安を代弁し質問したり、丁寧に説明するなどして下さいました。



11/9(月)、静岡大学教職大学院准教授の矢崎満夫氏をお迎えし、日本語支援ボランティア養成講座特別研修会「対話と協働にもとづく“つながる”“つなげる”支援～多文化共生社会の実現に向けて～」を開催し、養成講座受講生ほか、日本語ボランティア、教育現場の先生方等が参加しました。

都市交流事業

紹興市友好訪問団 来宮

6/11(木)、友好交流関係都市である中国・紹興市から友好訪問団11人が来宮し、芦澤副市長を表敬しました。



10/22 歓迎夕食会@花の湯

当協会役員ほか、学校関係者や富士宮サッカー協会関係者も出席し、相互に交流を深めました。



左上:プレゼントしたFAIRオリジナルTシャツを早速着用してくれて感激
左下:おかわりの長蛇の列に奮闘する白垣会長
上:「花は咲く」を日韓国語で披露するFAIR都市交流委員。

栄州市中学生交流研修訪問団 来宮

10/22(木)~26(月)、友好交流関係都市である韓国・栄州市から中学生交流研修訪問団が来宮しました。MERSの影響で、8月のサッカー富士山カップ出場を断念した豊基サッカー少年団も同行し、中学生20名・小学生16名が市内の小中学校でそれぞれ交流しました。

10/22 副市長表敬訪問@富士宮市役所

多くの市役所職員が出迎えたほか、ゆるキャラのさくやちゃんも笑顔でお出迎え!その後7階701会議室で行われた副市長表敬では、富士宮市からキム・ジンヨン栄州市国際交流協会会長に富士山の手ぬぐいが贈られました。



10/24 市民交流会@富士宮駅前交流センターきらら

生の韓国語を実践できるいいチャンス!とFAIR韓国語講座(中級・初級)受講生が参加したほか、訪問団が交流した第一中学校および北山中学校の生徒さんが遊びにきてくれました。東高美術部倉本君制作による富士宮市紹介スライドで始まった会は大いに盛り上がりました。



左上:韓国語で交流する講座受講生。「一生懸命聴いてくれた」と感激
上中:流暢な日本語でお礼を述べるキム・ガヒョンさん
上右:星陵高校ダンス部有志によるオリジナル振付のK-POPダンス



左上:星陵高校のダンスに即興のダンスパフォーマンスで応える豊基サッカー少年団。上右:日本のお菓子を食べながら鑑賞。ワサビは辛かった!

栄州市長訪問団 来宮

11/3(火)~5(木)チャン・ウクヒョン市長を団長とし、議員や市職員で構成された9人の訪問団が来宮しました。チャン新体制となった栄州市は、市長会談にて、現在の中学生やサッカー交流よりさらに踏み込み、経済・観光でも交流を深めていくことを要望。須藤市長と固く握手を交わしました。1月には早速、イ・ゼウ流通支援課長が再来宮し、あさざりフードパーク等にて様々なノウハウを体験しました。

左上:須藤市長と握手するチャン市長

上右:歓迎夕食会では中学生プロの前田健志くんが尺八と詩吟を披露。大喝采を受けました。

下左:和やかに行われた市長会談

下右:市役所3階応接室にて市長表敬



文化交流事業

国際理解講座「インド舞踊を踊ろう！」



7/25(土)インド舞踊家の平林千亜紀さんを迎え、実際にインドのサリーを着て踊りました。慣れない拍数に右往左往し受講生も講師も大笑い！踊ったあとはインド人クマールさんをお願いしたサモサをチャイと一緒に味わいました。

宮おどり



8/2(日)“富士宮市国際交流協会連”として参加。オリジナルTシャツにピンクとブルーが加わり、賑やかさが増しました。今年はリアカーとクーラーボックスも自前で完備。引っ張ってくれた山本さんや留学生の皆さん、ありがとうございました！

国際交流パーティー

7/5(日)七夕流しそうめんパーティー



ポットラックで並んだ料理に、同日行われた日本料理教室で作った料理が加わる豪華なパーティーとなりました。

初めての流しそうめんを動画撮影し、SNSにアップする外国人参加者もいて、特に親子での参加者には、いい思い出となったようです。

2/27(日) 富士山WINE飲まNight!



ニュージーランド出身で、市内根原のfujisanWineryで働くマット・ディクソンさんからワイン造りについてうかがいました。フランス・アメリカ・韓国・スリランカ等出身の外国籍市民を含む約60名が、持ち寄った料理とワインを楽しみながら交流しました。

世界の料理教室

7/5(日)WA(和)! 日本料理を学ぼう



A.C.C.国際交流学園から鈴木結さんを講師に、天ぷらや東坡煮、ダシの取り方などを学びました。ブラジルで寿司職人をしていたポルバさん、スリランカのホテルで調理経験のあるダヌシュカさんほか参加したニュージーランド・ベトナム・中国・アルゼンチン・韓国・フィリピン出身の受講生は皆手さばきが巧みで驚かされました！

12/6(日) 韓国料理



FAIR韓国語講座でお馴染み、ことばアカデミーの柳仙珠さんを講師に、トッポッキ・チヂミ・キムチを作りました。特にキムチは有志により前日から仕込まれ、参加者は韓国のお家の味に舌鼓をうち、韓国語での会話にトライしていました。

きららまつり



10/16(金)~10/17(土)事務局所在地である富士宮駅前交流センターで行われたきららまつりにて、昨年に引き続きブラジル人のパオラさんが手づくり雑貨販売をしたほか、朝霧高原の牛乳でチーズ作りをしているガルシア兄弟が参加し、来館者と交流しました。土日には“おしゃべりラウンジ”を開催。また、FAIRの活動を紹介するパネルの展示や、昨年度のFAIR20th Anniversaryで行った写真展応募作品の展示を行いました。

ふれあいトーク



1/17(日)福祉会館にて行われた「ふれあいトーク」にて、文化交流委員有志が、活動を紹介するパネル展示を行いました。

外国人の日本語による、日本人の外国語による FAIR 国際カラオケ大会

12/13(日)富士宮市総合福祉会館大広間にて開催し、フィリピン・ペルー・中国・ブラジル・スリランカ出身者を含む総勢18組が自慢ののどを競い合いました。特別審査員としてホベルト&ミカ(ホベルトさんは2010年NHKのど自慢チャンピオン大会の優勝者です)をお迎えし、幕間には小笠原正民謡座による手踊りも加わり、年忘れにふさわしい盛り上がりとなりました。入賞者と曲目は以下の通りです。(敬称略)

金賞 北川ファビオ琢美(ブラジル)
五木ひろし「月物語」



浜松市からのエントリー！憧れの“歌謡会のペレ”ことホベルトさんと一緒に。

銀賞 後藤アマリア(フィリピン)
テレサテン「愛の陽差シアモーレミオ」



1番手だったにもかかわらず堂々とした歌い出しで、会場が一瞬で魅了されました。応援団もにっこり。

銅賞 リナ(ブラジル・日本)
小柳ミコ「瀬戸の花嫁」



パパ好みの、かの名曲。妹のマリアちゃんは踊りで参加。



特別賞 ダヌスカ・ナワラトナ(スリランカ)
坂本九「上を向いて歩こう」
風邪を薬で抑えて、日本語→口笛→英語の大サービス。初着物がお似合いのルシアナさん(ペルー)と。



審査員特別賞
刘越(中国)

DonMclean「Vincent」
カラオケを使わず弾き語りで魅せてくれました。惜しいことに日本語詞でないため協議の末、同賞受賞となりました。



上左:会長賞 朝比奈絵美子(日本)
IreneCara「Flashdance...
What a Feeling」

上右:ホベルト&ミカ賞 篠原和子(日本)
RayCharles「My Bonnie」



審査を待つ間は、笠原正民謡座と民謡ダンシング！



ホベルト&ミカのステージにうっとり

編集・レイアウト・発行/
FAIR事務局
編集者 吉野 明日香
〒418-0065 富士宮市中央町5番7号
富士宮市国際交流協会
TEL(0544)22-8111
E-mail:info@fair-fujinomiya.com
URL https://www.fair-fujinomiya.com

デザイン・印刷/
株式会社いんさつ
TEL(0544)27-4055

ご報告申し上げます。ご協力いただきましたネパール地震救援金はおかげさまで69,659円となり、静岡県国際交流協会および日本赤十字社を通じて送金させていただきました。ありがとうございました。

なお、募金箱を設置いたしました富士宮駅前交流センターきららおよび富士宮市役所あわせて、アメリカ貨幣にて1ドル75セントの募金もございました。今回は日本円のみを受入でしたので、通常の募金箱名“国際救援金募金箱”に継続してお預かりさせていただきます。重ねて、ありがとうございました。

69,659yen and 1 \$75¢
31.SEP.2015
THANK YOU for supporting the Nepal
Earthquake Disaster !!!



FAIR ホームページがリニューアルしました！
Facebook「富士宮市国際交流協会 事務局」も随時更新中です。ぜひご覧ください。

編集後記

「外国籍市民」と書くのに躊躇するときがあります。わざわざ区別する必要があるのであるだろうかと思ひます。国籍に関係なく、観光客はもてなす。暮らしやすくするために市民同士知恵を出し合う。むしろルーツの違いを活かしあえる、そんな富士宮市になったら、世界遺産の富士山も微笑むのではないのでしょうか。

(事務局 吉野)